

Ⅱ 調査結果

2. 1 暮らしについて

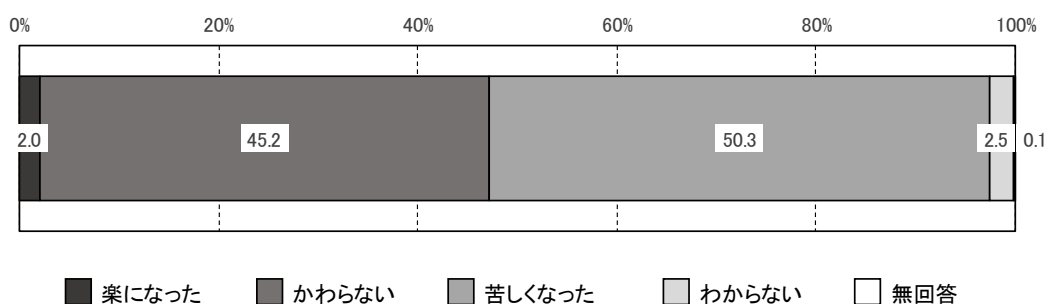
問1 暮らしの前年比較

問1 あなたやあなたの家庭の暮らし向き（家計など）は、去年の今頃と比べてどうですか。
（1つだけ）

全体（図 1-1）で見ると、「苦しくなった」が 50.3%と最も高く、次いで「かわらない」（45.2%）、「わからない」（2.5%）、「楽になった」（2.0%）の順となっている。

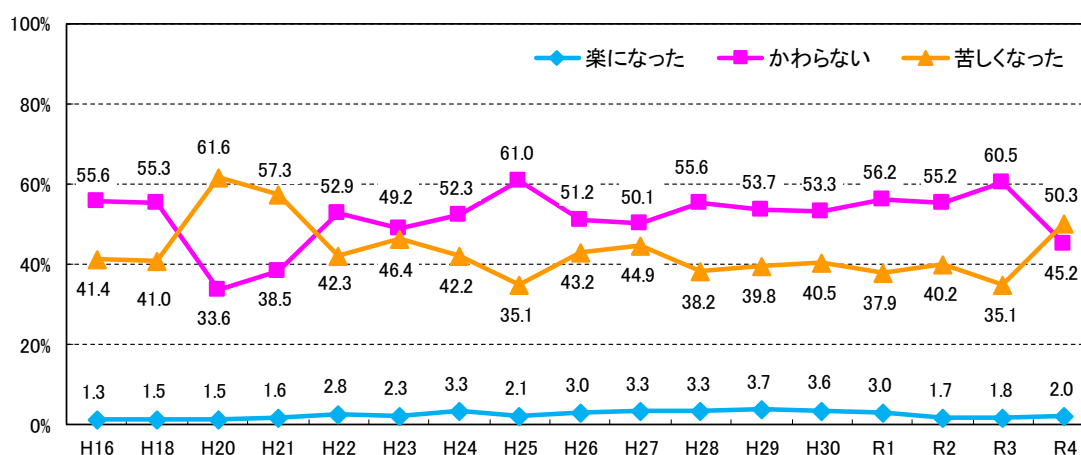
図 1-1 暮らしの前年比較

回答者数 (n = 1,616)



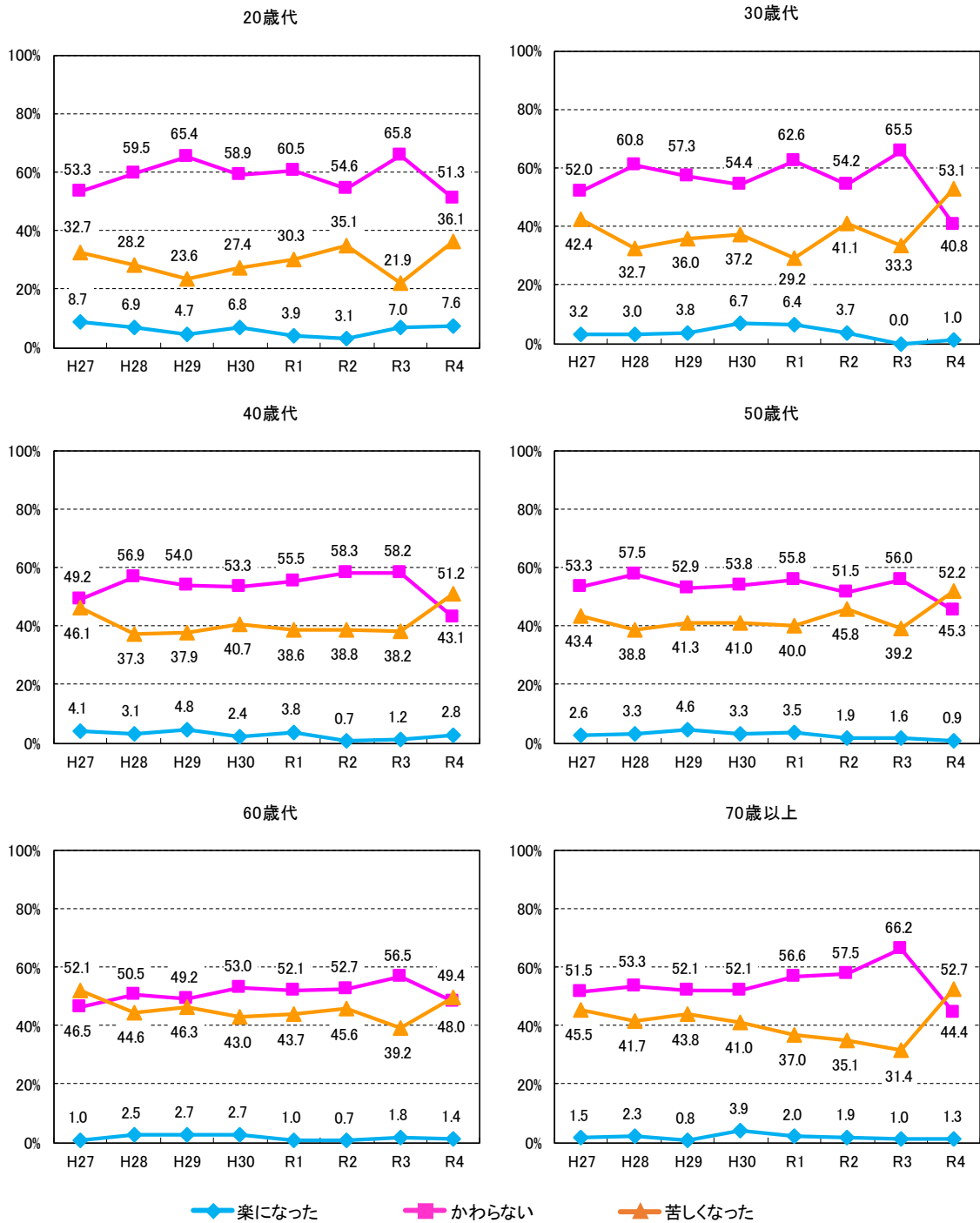
経年変化（図 1-2）で見ると、平成 22 年から令和 3 年までは一貫して「かわらない」が最も高くなっている。令和 4 年では「かわらない」が、令和 3 年より 10.2 ポイント減少し、「苦しくなった」が 10.1 ポイント増加して「かわらない」を上回っている。

図 1-2 【経年変化】暮らしの前年比較



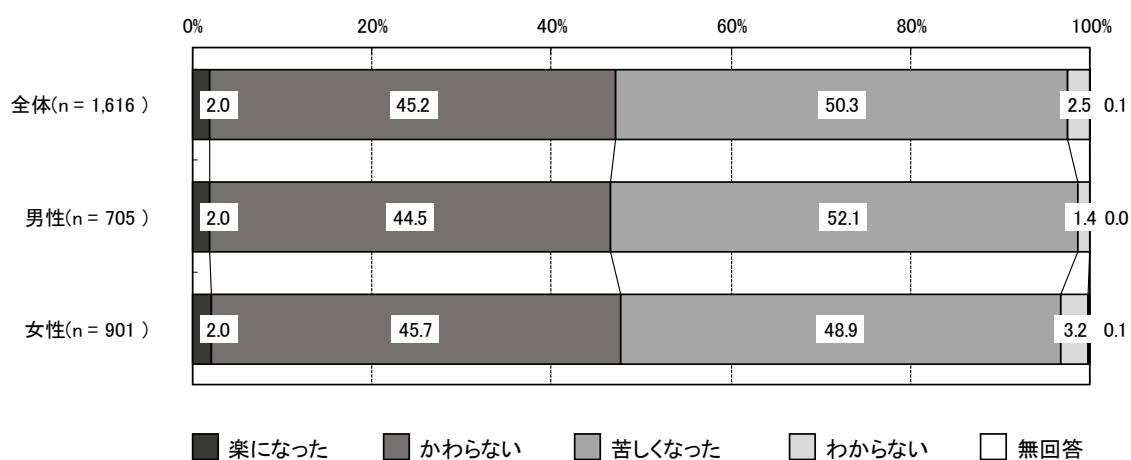
年代別の経年変化（図 1-3）で見ると、令和 4 年では令和 3 年に比べ、いずれの年代においても「苦しくなった」が増加しており、そのうち 70 歳以上が 21.3 ポイントと最も増加幅が大きい。一方、「楽になった」は、20 歳代、30 歳代、40 歳代、70 歳代において増加している。

図 1-3 【経年変化(年代別)】 暮らしの前年比較



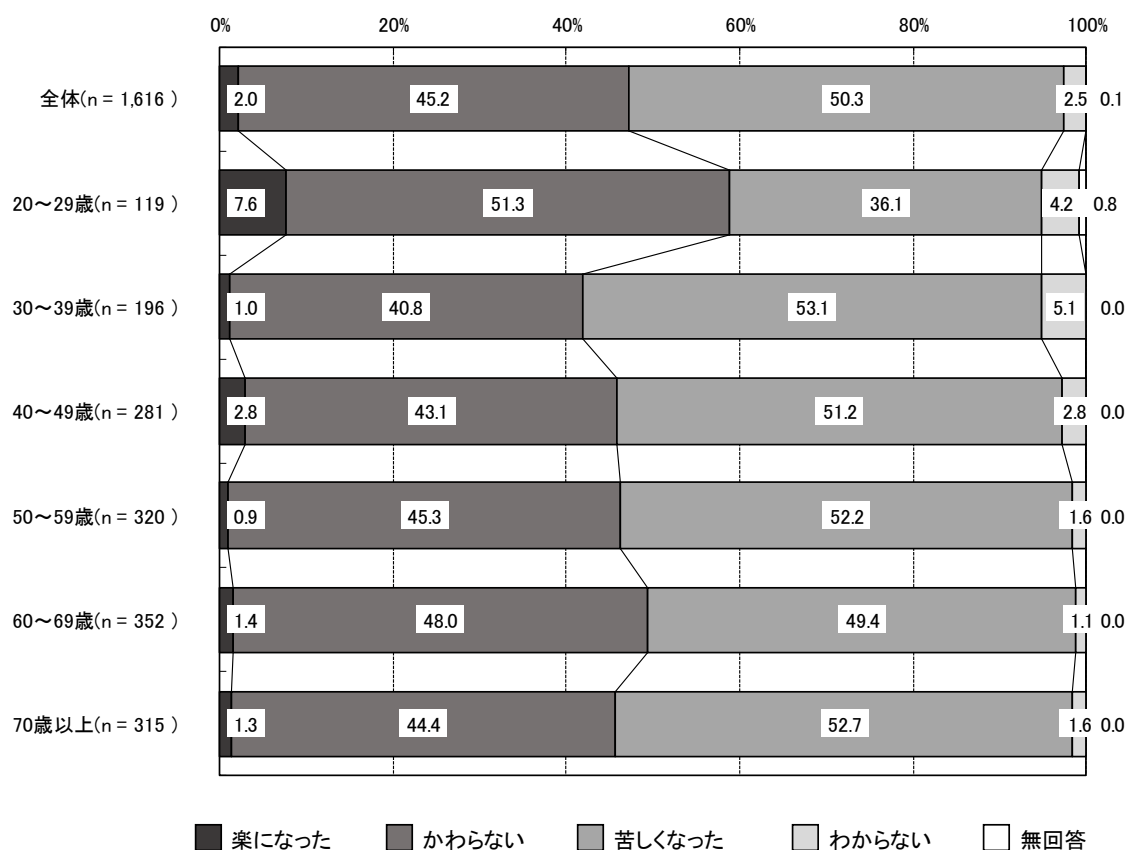
性別（図 1-4）で見ると、男女ともに「苦しくなった」が最も高く、男性が 52.1%、女性が 48.9%となっており、男性が女性より 3.2 ポイント高くなっている。

図 1-4 【性別】くらしの前年比較



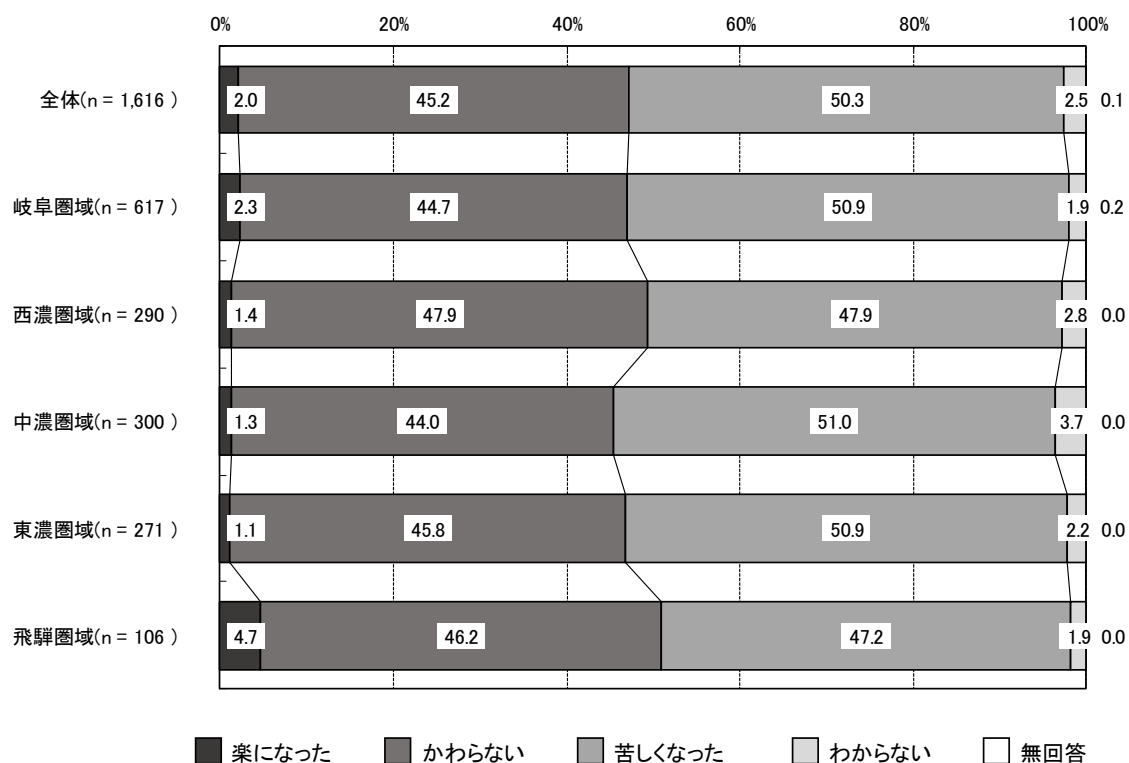
年代別（図 1-5）で見ると、20 歳代を除くいずれの年代においても「苦しくなった」が最も高く、そのうち 30 歳代が 53.1%と最も高くなっている。20 歳代では「かわらない」が 51.3%と、他の年代に比べて最も高くなっている。

図 1-5 【年代別】くらしの前年比較



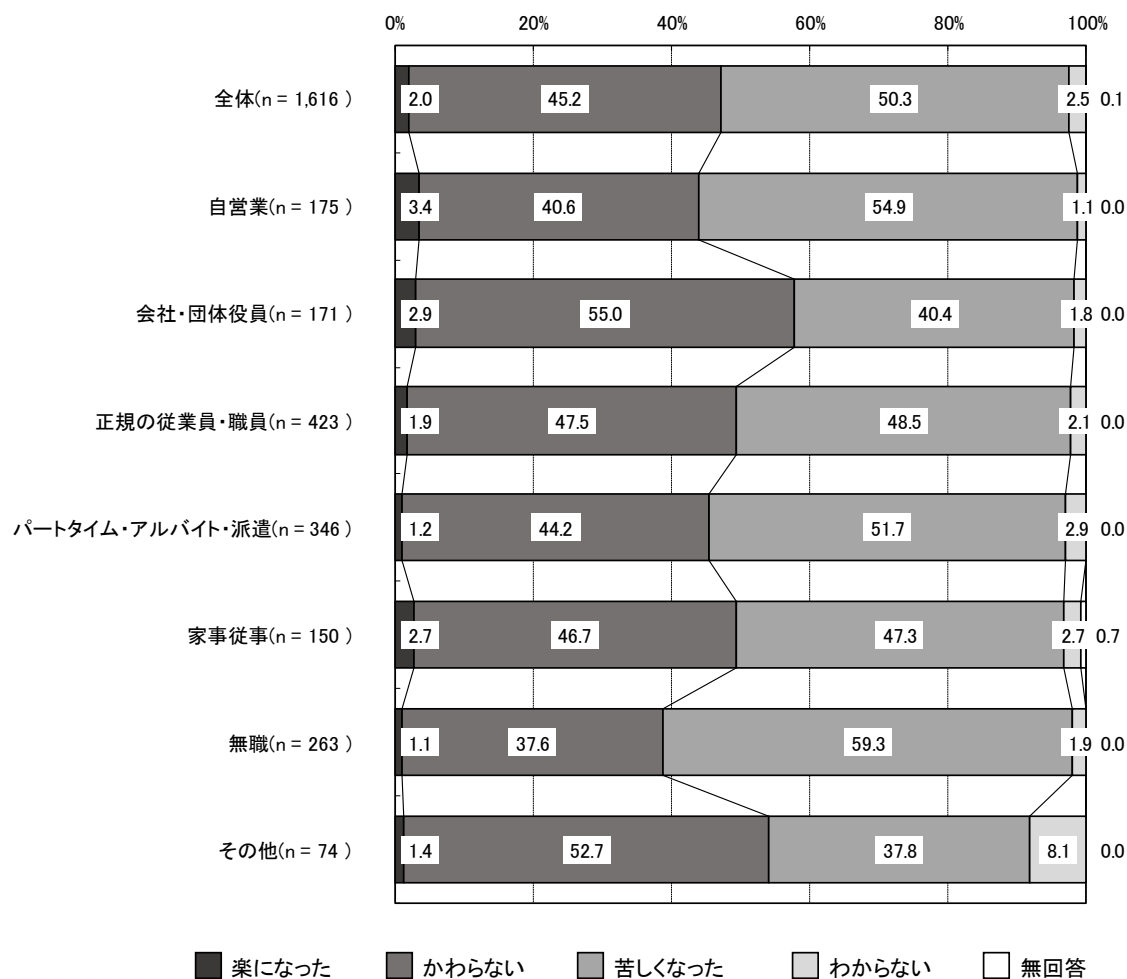
居住圏域別（図 1-6）で見ると、いずれの圏域においても「苦しくなった」が最も高く、そのうち中濃圏域が 51.0%と最も高くなっている。（西濃圏域では「かわらない」と同率）

図 1-6 【居住圏域別】くらしの前年比較



職業別（図 1-7）で見ると、会社・団体役員とその他を除くいずれの職業においても「苦しくなった」が最も高く、そのうち自営業、パートタイム・アルバイト・派遣、無職では50%以上と高くなっている。会社・団体役員、その他では「かわらない」が最も高くなっている。

図 1-7 【職業別】くらしの前年比較



※ その他には、自由業、学生を含む。